

長期戦略:テーマ 「理系研究室の充実」

提出日 2020年8月7日

担当部署

II.実施計画帳票

| | | | |
|-----------------------|------------------------|---------------|------|
| 長期戦略テーマの責任者 (統轄部署) | 小菅副学長(総括) (学長室大学院課) | 実施計画の 担当部署 | 理工学部 |
|-----------------------|------------------------|---------------|------|

1. 実施計画

| 実施計画(タイトル) | 取組開始 | 達成状況 確認年度 | 学部・研究科での 取組み有/無 | 帳票 |
|--|--------|--------------|--------------------|----|
| 2-(2)-① 学部から前期課程への進学率増の施策 | 2019年度 | 2021年度 | 必要なし | 不要 |
| <p>内容</p> <p>本大学理工学研究科においては、一定数の大学院生を確保することが教員の研究活動と直結するだけでなく、学部・大学院の教育、後期課程への進学者数、研究者の輩出数等とも深く連関するため、本大学理工学部から前期課程への進学者比率を2021年には、50%以上、2027年には60%以上を確保する。</p> <p>そのために、学部入学直後のオリエンテーションから大学院進学への価値（高度な研究の魅力、研究開発職への就職率、大学院卒の年収・生涯賃金の高さ等）をデータに基づいてキャリア説明会を新たに開催し説明すると共に、新たに入学式で保証人の方々に対して説明する機会を設ける。また3年の春学期には、大学院オープンキャンパスを実施し、大学院進学を意識づける。さらに、他大学大学院への流出を防ぐためにも、大学院早期履修制度での大学院科目の先取り履修、推薦入試制度見直し、仮進級制度見直し、早期卒業制度の設置など修学期間を短縮する施策等を実施する。さらに学部1年生と院生との懇談会実施及び学部1年生へのアンケートを実施することで、大学院進学をエンカレッジする。具体的な施策は次のとおり。</p> <p>a) 大学院先取り履修制度：学部時代に大学院科目を早期履修させ、その科目を大学院進学した段階で大学院修了単位に認定する制度</p> <p>b) 早期卒業制度：学部を3年間で早期卒業する制度の拡大</p> <p>c) 保証人対象大学院進学説明会の新設：保証人対象として、大学院進学への価値を理解してもらうため入学式当日に開催</p> <p>d) 1年生対象大学院進学に向けたキャリア説明会の開催：1年生を対象として、学部入学直後のオリエンテーション等での大学院進学への意識付け</p> <p>また、2019年度入学生より入学金、学費合わせ理工学研究科のみ20万下げることにより、国立への流出を防ぐ施策を実施したが、業務報酬型奨学金制度導入（仮称）による支援体制充実を図ることにより院生確保を図る。具体的な施策は次のとおり。</p> <p>a) 業務報酬型奨学金制度の新設・導入：TA予算増額がこれ以上望めないため、新たに業務報酬型奨学金制度を導入し、学</p> | | | | |

業務報酬型奨学金制度
についてはペンディング

| 進捗状況を測る指標 | 指標名 | 定義・算式 |
|-----------|-----------------------------|--|
| 指標1 | 大学院先取り履修制度及び早期卒業制度を利用した入学者数 | 学部時代に大学院科目を早期履修させ、その科目を大学院進学した段階で大学院修了単位に認定する制度及び学部を3年間で早期卒業する制度を活用して本大学院に進学した学生数。 |
| 指標2 | | |
| 指標3 | | |

目標1 < 指標1 > 大学院先取り履修制度及び早期卒業制度を利用した入学者数

| | 2019年度 | 2020年度 | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 | 2024年度 |
|----|--------|---------------------|--------|--------|--------|--------|
| 目標 | 0名 | 0名 | 45名 | 70名 | | |
| 実績 | — | 148(先取り履修145、早期卒業3) | | | | |

目標2

| | 2019年度 | 2020年度 | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 | 2024年度 |
|----|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 目標 | | | | | | |
| 実績 | | | | | | |

目標3

| | 2019年度 | 2020年度 | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 | 2024年度 |
|----|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 目標 | | | | | | |
| 実績 | | | | | | |

2. ロードマップ

| | | 2019年度 | 2020年度 | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 |
|---|------------|-----------------|-------------------|-------------------|-----------------|-----------------|
| 大学院先取り履修制度・早期卒業制度 | 策定段階 | 制度設計 | 制度設計 | 運用開始 | 運用・制度見直し | 運用・制度見直し |
| | 2021年3月末段階 | 制度設計完了 運用開始 | 運用 | 運用・制度見直し | | |
| | | 2024年度 | 2025年度 | 2026年度 | 2027年度 | - |
| | 策定段階 | 運用・制度見直し | 運用・制度見直し | 運用・制度見直し | 運用・制度見直し | |
| | 2021年3月末段階 | | | | | |
| | | 2019年度 | 2020年度 | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 |
| 保証人対象院進学説明会、1年生対象院進学に向けたキャリア説明会 業務報酬型奨学金制度 | 策定段階 | 制度設計 | 制度設計 | 説明会実施・ 奨学金制度導入 | 説明会実施・ 奨学金運用 | 説明会実施・ 奨学金運用 |
| | 2021年3月末段階 | 実施案確定 | 新型コロナのため 実施できず | 説明会実施 | | |
| | | 2024年度 | 2025年度 | 2026年度 | 2027年度 | - |
| | 策定段階 | 説明会実施・ 奨学金運用 | 説明会実施・ 奨学金運用 | 説明会実施・ 奨学金運用 | 説明会実施・ 奨学金運用 | |
| | 2021年3月末段階 | | | | | |

3. 費用計画・人員計画

| 【費用・人員を必要とする理由】 | | | | | | | |
|-----------------|------------|------------|------------|---------|---------|---------|------|
| 非公開 | | | | | | | |
| 経費 単位:万円 | 2019 年度 承認 | 2020 年度 承認 | 2021 年度 承認 | 2022 年度 | 2023 年度 | 2024 年度 | 左記以降 |
| 非公開 | | | | | | | |
| 人員・人件費 単位:万円 | 2019 年度 承認 | 2020 年度 承認 | 2021 年度 承認 | 2022 年度 | 2023 年度 | 2024 年度 | 左記以降 |
| 非公開 | | | | | | | |

4. 進捗状況・得られた成果

| | |
|--------|--|
| 2019年度 | <ul style="list-style-type: none"> ・2019年3月工学部卒業者数543名の内、2019年4月工学研究科博士課程前期課程への進学者数は220名。(40.52%、前年度比+3.64pt) ・2019年3月数理科学科早期卒業者数は0名。 ・大学院科目早期履修制度を整備し、次年度の卒業研究配属予定の3年生に情宣を行った。 ・保証人対象の説明会の実施に向けて準備を進めた。 |
| 2020年度 | <ul style="list-style-type: none"> ・2020年3月工学部卒業者数696名の内、2020年4月工学研究科博士課程前期課程への進学者数は257名。(36.93%、前年度比▲3.59pt) ・2020年度の工学部4年生のうち、大学院科目早期履修者数は145名。 ・2020年3月数理科学科早期卒業者数は3名、うち2020年4月工学研究科進学者数は3名。 ・保証人対象の説明会は新型コロナウイルス感染症の関連で入学式が中止となったため実施できなかった。 |
| 2021年度 | |
| 2022年度 | |
| 2023年度 | |
| 2024年度 | |

5. 今後の課題及び方向性

| | |
|--------|---|
| 2019年度 | <ul style="list-style-type: none"> ・大学院科目早期履修制度については、2020年度からの実施に向けて、工学研究科では了解を得て、提供科目も各専攻概ね決定している。具体的な運用・業務フロー等を学長室、教務機構と調整中。 ・保証人対象の説明会は2020年4月入学生から実施する方向で検討中。 |
| 2020年度 | <ul style="list-style-type: none"> ・早期履修制度の工学研究科への接続効果については今後検証を行っていく。 ・保証人対象の説明会は2021年4月実施に向けて再度準備していく。 |
| 2021年度 | |
| 2022年度 | |
| 2023年度 | |
| 2024年度 | |

6. 学院総合企画会議の基本方針

| | |
|---------|--|
| 2018 年度 | 内部生の大学院進学策を遂行するために、事務職員 1 名の配置を認める方向とし、人事部にて対応します。ただし、理工学部再編に伴う申請業務も含まれます。 |
| 2019 年度 | — |
| 2020 年度 | — |
| 2021 年度 | |
| 2022 年度 | |
| 2023 年度 | |

7. Total Review の結果

【フェーズ I (2019～2021)】

| レビュー結果 | 可 否 | 備 考 (継続:「フェーズ II に向けた課題」 廃止:その理由と今後の方向性) |
|--|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・大学院科目の先取り履修制度を導入し、内部進学者を安定的に確保するための素地が出来上がった。 ・2021 年度は 2020 年度に実施できなかった保護者対象説明会を実施の上、他の施策も継続実施する。 | <input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 廃止 | <ul style="list-style-type: none"> ・同左 |

【フェーズ II (2022～2024)】

| レビュー結果 | 可 否 | 備 考 (継続:「フェーズ II に向けた課題」 廃止:その理由と今後の方向性) |
|--------|---|---|
| | <input type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 廃止 | |